



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



エフコムベースボールクラブ

第49回全日本クラブ野球選手権二次予選東北大会

◇◇ 試合結果 ◇◇

二回戦	V S	釜石野球団	(1 8 対 4)	勝利
準決勝	V S	東北マークス	(1 1 対 2)	勝利
決勝	V S	水沢駒形野球倶楽部	(1 0 対 0)	優勝

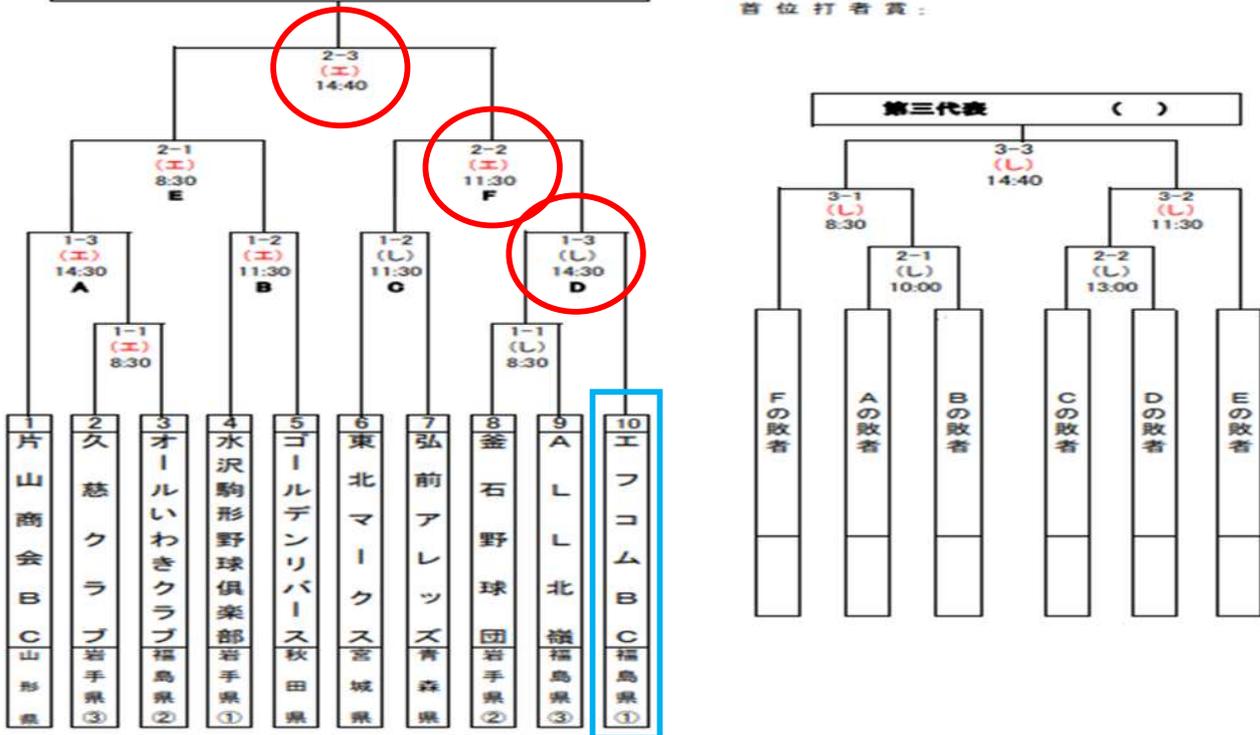
第49回全日本クラブ選手権第二次予選東北大会
supported by
仙台ターミナルビル株式会社

組合せ表

会期 2025年 8月9日(土)~11日(月) 3日間 雨天順延 入場無料
 主催 JABA東北地区連盟・毎日新聞社 主管 JABA福島県野球協会・毎日新聞福島支局
 会場 しらさわグリーンパーク・エフコム大泉球場

優勝・第一代表: ()
 準優勝・第二代表: ()

最高殊勲選手賞:
 敢闘賞:
 首位打者賞:



投手陣、野手陣共に奮闘、大会二連覇で全国へ！



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



エフコムベースボールクラブ

エフコムBC 中島 周作 監督兼内野手、主将の八百板 飛馬 外野手、そして最優秀選手賞を受賞しました吉田 浩隆 内野手より大会のコメントをいただきました!



中島 周作 監督兼内野手

全日本クラブ野球選手権東北大会において、沢山の応援を頂きありがとうございました。暑い中、また雨での順延もありましたが、応援が力になり優勝することができました。
結果的に三試合すべてコールドで勝つことができたのは、選手全員が最後まで全力を尽くした結果だと思います。地元での開催でもあり応援と一体になり優勝へ繋げる事ができたと感じております。
今年の全国大会は、愛媛県松山市での開催です。遠方での開催になりますが、優勝目指して挑んでまいります。今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。



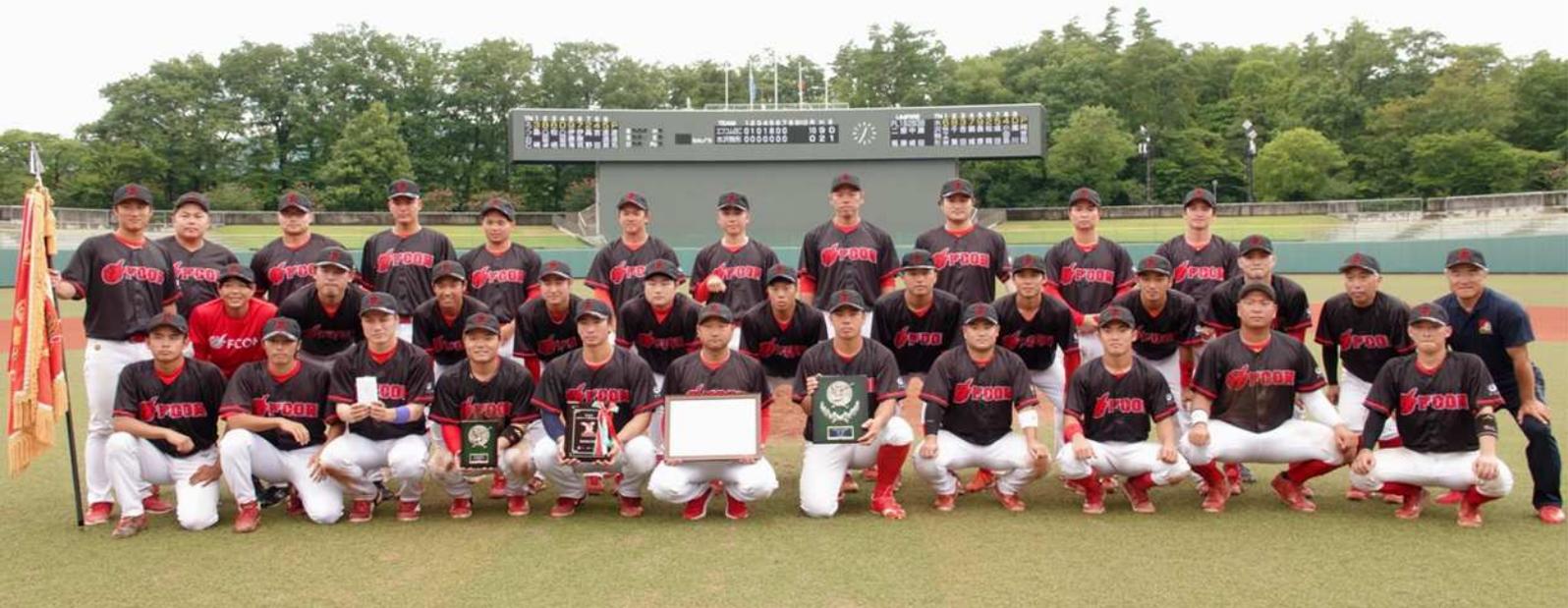
八百板 飛馬 外野手 (主将)

全日本クラブ選手権東北大会も熱いご声援ありがとうございました。まずは支えてくださったスポンサーの方々、球場までお越しいただいたサポーターの方々、エフコムBCにご尽力していただいたすべての皆様に御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。
今シーズン最大の目標である全日本クラブ選手権全国への切符がかかった二次予選は、すべてコールド勝ちで締めくくることができました。選手全員が同じ方向を向いて戦えたことが勝因です。
全国大会でも熱いご声援よろしくお願いいたします。



吉田 浩隆 内野手 (新人)

前回大会に続き、全日本クラブ選手権二次予選東北大会も熱いご声援ありがとうございました。
悪天候の中でしたが、応援団をはじめ多くの方々が球場に足を運んでくださり感謝の気持ちでいっぱいです。とても力になりました。
昨年味わった全国での悔しさは全国でしか返せません。銀色のメダルを金色に変えるために愛媛に乗り込みたいと思います!一人ひとり自分の役割を果たし『日本一』を取って福島に帰ってきます。
全国大会も熱いご声援よろしくお願いいたします!



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

二回戦 V S 釜石野球団

全日本クラブ野球選手権二次予選東北大会は、地元である福島県での開催となり気合の入った初戦となりました。しらさわグリーンパーク野球場第三試合、この日の第一試合でALL北嶺を破った岩手県代表の釜石野球団との対戦です。

先発は渡邊拓海、立ち上がりは制球に苦しむも無失点に抑えます。1回裏先頭の島崎がお手本のようなバッティングでヒットを放ちこの回3安打と四死球を絡めて4点を先取しました。2回裏にも相手の守備の乱れに乗じて3点。試合展開もエフコムが有利に進む中、4回裏には5番の伊藤海斗が打った瞬間にホームラン(2ラン)とわかる一打を放ち、二死からは6連打で一気に8得点。渡辺翼の3安打、八百板卓丸の全打席出塁も光った試合でした。

投手陣は拓海に続き、小川、照井、長根のリレー。18対4で準決勝に駒を進めました。

渡邊 拓海 選手 <先発>
投手/出身校：酒田南高校 ⇒ 東日本国際大学



伊藤 海斗 選手
外野手/出身校：酒田南高校



茨木 響也 選手
内野手/出身校：学法石川高校 ⇒ 八戸学院光星大学



八百板 卓丸 選手
外野手/出身校：聖光学院高校



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

準決勝 V S 東北マークス

翌日の準決勝はエフコム大泉球場が会場。雨が降り続く中、静かなる闘志を燃やして臨んだエフコム戦士。

初回は東北マークスの機動力で先制点を取られます。尚も続く無死2、3塁を山形、大川のバッテリーが踏ん張りピンチを凌ぎました。その裏、先頭バッターの島崎が初戦に引き続きヒットで出塁すると、松嶋も安打でつないで、八百板飛馬の犠牲フライですぐさま同点に追いつきます。2回裏には高野、大川の連打から1点勝ち越し、3回には走者を置いて主将飛馬が今度は雨の中を切り裂くホームランで4点目を追加。6回には一挙7得点で流れを渡しません。

先発の山形は雨の影響で制球が甘くなったものの要所でギアを上げ2失点。最終回となった7回は渡邊拓海が登板し三者凡退に抑えて全国大会への切符をつかみました。

山形 胤舜 選手 <先発>
投手/出身校：弘前学院聖愛高校 → 青森大学



島崎 開史 選手
外野手/出身校：日立第一高校 → 福島大学



渡邊 翼 選手
内野手/出身校：聖光学院高校



八百板 飛馬 選手
外野手/出身校：聖光学院高校



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

決勝 VS 水沢駒形野球倶楽部

準決勝の次に予定されていた決勝のダブルヘッダーは、雨天の影響で決勝が翌日に順延となり場所もあづま球場に移して熱戦が繰り広げられました。決勝は水沢駒形野球倶楽部。先発は新人の小口、先頭打者にヒットを許しますが、続く2者を打ち取り4番を三振で抑える投球を見せチームに良い流れをもたらします。先制点を挙げたのはエフコム。6番伊藤琉晟がサードへの鋭い打球で相手のエラーを誘い、続く7番大川のショートゴロの間に2塁へ進塁。8番新人の吉田がライトへのヒットがタイムリーとなって琉晟がホームに帰還。5回には打線が爆発します。長打4本を含む12人の猛攻で大量8点追加です。小口は5回を投げ被安打2の好投で試合を作ります。6回は大内が中継ぎとして登板、僅か12球で相手を封じ込めました。7回には渡邊拓海が抑えとしてマウンドへ。3人の打者に対して2三振を奪う力投を見せ、決勝も10-0の7回コールドゲームで試合を締めくくりました。

9月13日からはいよいよ全国大会。チーム一丸となってクラブ日本一を目指して日々精進してまいります。今後とも温かいご声援のほどよろしくお願いいたします。

伊藤 琉晟 選手
外野手/出身校：酒田南高校 ⇒ 富士大学



小口 優太郎 選手<先発>
投手/出身校：東海大浦安高校 ⇒ 東海大学



大川 剛史 選手
捕手/出身校：日大山形高校 ⇒ 東北公益文科大学



吉田 浩隆 選手
内野手/出身校：浦和実業高校 ⇒ 富士大学



応援ありがとうございました!

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。